

平成 19 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結） 及び 平成 19 年 9 月期 業績予想の修正について

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 **太洋物産株式会社** 上場取引所 JQ
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）柏原 弘
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 総務部長（氏名）宮内 敏雄 TEL (03)5402 - 8181
 配当支払開始予定日

（百万円未満切捨て）

1. 平成 19 年 9 月期第 3 四半期の業績（平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月期第3四半期	52,019	6.1	461	51.5	344	38.0	125	8.9
18年9月期第3四半期	49,027	7.0	304	14.3	249	3.1	137	-
（参考）18年9月期	66,793		346		268		201	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月期第3四半期	14	93	-	-
18年9月期第3四半期	16	39	-	-
（参考）18年9月期	24	07	-	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年9月期第3四半期	22,851	6,048	26.5	721	22
18年9月期第3四半期	19,089	6,209	32.5	740	35
（参考）18年9月期	18,135	6,543	36.1	780	25

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第3四半期	4,282	67	3,045	680
18年9月期第3四半期	772	103	283	1,157
（参考）18年9月期	1,300	220	443	1,849

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
（基準日）	円	銭
19年9月期第3四半期	-	-
18年9月期第3四半期	-	-

3. 平成19年9月期の業績予想(平成18年10月1日~平成19年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	68,000	1.8	500	44.5	400	48.7	170	15.8	20	27

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。〕

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 税金費用等、一部簡便的な方法を採用しております。
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 当第3四半期より法人税法の改正に伴い平成19年4月1日以降取得する有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。
 この変更に伴う営業利益、経常利益、当期純利益に与える影響は軽微であります。
- (3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、米国経済の減速はあったものの、北京オリンピックや上海万博を控える中国、資源高に潤うロシア・オーストラリアへの輸出が堅調に推移し、又、国内消費についても、2月の世界的な連鎖株安以降、低調に推移してありました消費が、株価の持ち直しとともに盛り返す動きを見せるようになってきましたことから、穏やかな景気拡大が視野に入る展開となっております。その中で当社は、市場価格等の変動、消費嗜好の動きにより、売上高・取扱数量が減少した商品もありましたが、菜種・米・麦等の農産物、豚肉等の畜産物、中国向け車輛用エンジン部品等の輸出を順調に伸ばすことができました。

この結果、売上高は520億19百万円(前年同期比29億91百万円増、6.1%増)と増収となり、営業利益は4億61百万円(前年同期比1億57百万円増、51.5%増)、経常利益は3億44百万円(前年同期比94百万円増、38.0%増)、当四半期純利益は1億25百万円(前年同期比12百万円減、8.9%減)となりました。(部門別の状況は、添付書類をご覧ください。)

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ11億69百万円減少し、6億80百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、42億82百万円(前年同期は得られた資金7億72百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加9億7百万円等がありましたが、売上債権の増加39億53百万円、たな卸資産の増加18億58百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、67百万円(前年同期は使用した資金1億3百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1億73百万円等がありましたが、投資有価証券の売却・償還による収入2億28百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、30億45百万円(前年同期は使用した資金2億83百万円)となりました。これは主に、短期借入金の増加による収入31億円、配当金の支払による支出54百万円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成19年9月期(平成18年10月1日～平成19年9月30日)の業績予想につきまして、平成18年11月14日付当社「平成18年9月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のように修正いたします。

(1) 平成19年9月期の業績予想の修正(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
前回予想(A)	64,500	300	310
今回修正(B)	68,000	500	400
増減額(B-A)	3,500	200	90
増減率	5.4%	66.7%	29.0%

(2) 修正理由

売上高につきましては、当社主力商品の市場価格の値動きが大きく変動し、菜種、米、麦等の農産物、豚肉等の畜産物、中国向け車両用エンジン部品等を中心に売上高を伸ばすことができ、68,000百万円(当初予想比3,500百万円増)に修正いたします。

営業利益、経常利益につきましても、商品市況の活発な動きの中での確な商機を得ることができ、利益率が向上したことから、営業利益で500百万円(当初予想比200百万円増)、経常利益で400百万円(当初予想比90百万円増)と修正させていただきます。

なお、当期純利益につきましては、中間期に繰越欠損金を全額解消しましたことから、修正はございません。

(3) ご参考：前期の実績(平成17年10月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
前期(17/10～18/9)	66,793	346	268

4. 添付資料

(1)(要約)第3四半期貸借対照表、(2)(要約)第3四半期損益計算書、(3)(要約)第3四半期キャッシュ・フロー計算書、(4)第3四半期部門別売上高

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

〔 添 付 資 料 〕

(1)(要約)第3四半期貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	平成19年9月期 第3四半期末	平成18年9月期 第3四半期末	金 額	増減率	平成18年9月期 金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	680,581	1,157,551	476,970	41.2	1,849,651
受取手形	317,700	444,342	126,641	28.5	382,860
売掛金	12,116,608	7,853,536	4,263,071	54.3	8,097,639
有価証券	49,820	99,910	50,090	50.1	99,910
たな卸資産	6,863,561	6,854,622	8,939	0.1	5,005,515
その他	691,951	915,514	223,563	24.4	1,234,236
貸倒引当金	53,598	8,330	45,268	543.4	10,200
流動資産合計	20,666,624	17,317,146	3,349,477	19.3	16,659,613
固定資産					
有形固定資産	386,515	584,277	197,761	33.9	355,765
無形固定資産	7,623	6,210	1,413	22.8	7,853
投資その他の資産	1,884,690	1,198,624	686,066	57.2	1,133,032
貸倒引当金	94,100	17,080	77,019	450.9	20,862
固定資産合計	2,184,729	1,772,030	412,699	23.3	1,475,788
資産合計	22,851,354	19,089,177	3,762,177	19.7	18,135,402
(負債の部)					
流動負債					
支払手形	1,263,612	848,110	415,501	49.0	1,219,225
買掛金	2,264,153	2,727,740	463,586	17.0	1,401,123
短期借入金	10,300,000	7,100,000	3,200,000	45.1	7,200,000
1年内返済予定長期借入金	-	260,000	260,000	-	-
未払費用	1,794,023	1,441,951	352,072	24.4	1,201,105
未払法人税等	165,904	43,053	122,850	285.4	49,508
その他	754,086	174,457	579,629	332.3	216,991
流動負債合計	16,541,780	12,595,312	3,946,467	31.3	11,287,954
固定負債					
退職給付引当金	15,572	71,765	56,192	78.3	46,786
役員退職引当金	211,505	212,320	815	0.4	214,698
その他	33,703	499	33,203	-	42,116
固定負債合計	260,781	284,585	23,804	8.4	303,601
負債合計	16,802,561	12,879,898	3,922,663	30.5	11,591,555
(資本の部)					
資本金	-	1,149,859	1,149,859	-	-
資本剰余金	-	1,111,800	1,111,800	-	-
利益剰余金	-	3,850,938	3,850,938	-	-
その他有価証券評価差額金	-	96,960	96,960	-	-
自己株式	-	279	279	-	-
資本合計	-	6,209,279	6,209,279	-	-
負債及び資本合計	-	19,089,177	19,089,177	-	-

(単位:千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	〔平成19年9月期 第3四半期末〕	〔平成18年9月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	平成18年9月期 金 額
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	1,149,859	-	1,149,859	-	1,149,859
資本剰余金	1,111,800	-	1,111,800	-	1,111,800
利益剰余金	3,986,142	-	3,986,142	-	3,915,370
自己株式	279	-	279	-	279
株主資本合計	6,247,522	-	6,247,522	-	6,176,750
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	88,692	-	88,692	-	87,392
繰延ヘッジ損益	287,421	-	287,421	-	279,703
評価・換算差額等合計	198,729	-	198,729	-	367,096
純資産合計	6,048,793	-	6,048,793	-	6,543,847
負債及び純資産合計	22,851,354	-	22,851,354	-	18,135,402

(2)(要約)第3四半期損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	(平成19年9月期 第3四半期)	(平成18年9月期 第3四半期)	金 額	増減率	平成18年9月期 金 額
売上高	52,019,472	49,027,536	2,991,935	6.1	66,793,304
売上原価	50,439,157	47,749,808	2,689,348	5.6	65,193,678
売上総利益	1,580,315	1,277,728	302,587	23.7	1,599,625
販売費及び一般管理費	1,118,465	972,943	145,522	15.0	1,253,585
営業利益	461,849	304,785	157,064	51.5	346,040
営業外収益					
受取利息	3,814	1,233	2,580	209.2	2,255
受取配当金	2,901	2,197	703	32.0	2,210
受取賃貸料	4,507	3,677	830	22.6	5,282
その他	9,158	3,578	5,580	155.9	5,027
営業外収益合計	20,381	10,687	9,694	90.7	14,775
営業外費用					
支払利息	95,666	32,561	63,104	193.8	41,573
為替差損	21,809	13,217	8,591	65.0	21,143
支払保証料	7,613	7,607	6	0.1	10,161
その他	12,923	12,639	284	2.3	18,985
営業外費用合計	138,012	66,025	71,986	109.0	91,863
経常利益	344,219	249,446	94,772	38.0	268,952
特別利益	6,067	119,425	113,357	94.9	234,910
特別損失	-	48,549	48,549	-	65,710
税引前四半期(当期)純利益	350,286	320,322	29,964	9.4	438,152
税金費用	225,000	182,822	42,177	23.1	236,220
四半期(当期)純利益	125,286	137,500	12,213	8.9	201,932

(3)(要約)第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	〔平成19年9月期〕 〔第3四半期〕	〔平成18年9月期〕 〔第3四半期〕	平成18年9月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	350,286	320,322	438,152
減価償却費	14,182	13,082	17,469
減損損失	-	48,549	48,549
貸倒引当金の増減額(は減少額)	116,635	94,014	88,362
退職給付引当金の増減額(は減少額)	31,214	1,352	23,626
役員退職引当金の増減額(は減少額)	3,192	7,132	9,510
受取利息及び受取配当金	6,715	3,431	4,466
支払利息	95,666	32,561	41,573
為替差益	2,893	592	3,187
売上債権の増減額(は増加額)	3,953,809	2,395,847	2,232,126
たな卸資産の増減額(は増加額)	1,858,045	697,649	1,143,826
仕入債務の増減額(は減少額)	907,417	516,535	1,472,037
未払費用の増減額(は減少額)	581,660	262,154	503,000
その他	338,628	446,473	500,387
小 計	4,128,650	797,997	1,336,140
利息及び配当金の受取額	6,737	3,454	4,445
利息の支払額	86,654	29,756	40,415
法人税等の支払額	74,235	336	154
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,282,802	772,032	1,300,324
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却による収入	178,937	-	-
投資有価証券の償還による収入	50,000	-	-
投資有価証券の取得による支出	173,327	301	50,616
投資事業組合からの分配による収入	17,100	5,300	20,800
投資事業組合への出資による支出	-	100,000	100,000
その他	4,836	8,590	350,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,873	103,592	220,249
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	3,100,000	200,000	100,000
配当金の支払額	54,641	54,659	54,498
その他	-	29,000	289,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,045,358	283,659	443,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	500	322	380
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	1,169,070	384,457	1,076,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,849,651	773,094	773,094
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	680,581	1,157,551	1,849,651

(4) 第3四半期部門別売上高

(単位:千円、%)

	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	〔平成19年9月期〕 〔第3四半期〕	〔平成18年9月期〕 〔第3四半期〕	金 額	増減率	平成18年9月期 金 額
農 産 部	20,957,767	16,840,159	4,117,607	24.5%	24,474,180
食 糧 部	22,134,948	22,767,992	633,044	2.8%	29,739,244
生活産業部	2,601,044	3,169,976	568,931	17.9%	5,171,667
産業機材部	6,325,711	6,249,408	76,304	1.2%	7,408,211
合 計	52,019,472	49,027,536	2,991,935	6.1%	66,793,304

(注)前年同期まで「生活産業部」に計上しておりました「化学品・装置機器」につきましては、本年4月1日より産業機材部の取り扱いと変更したため、当第3四半期から「産業機材部」に計上しており、前年同期の実績を組み替えて対比しております。

【農 産 部】

食品用大豆(Non-GMO大豆)においては、国内消費の低迷傾向が依然として続いており、産地農場との契約生産や現地サプライヤーとの密接な関係による高品質かつ安定した供給に徹したものの、取扱数量は前年同期比減少となりました。

菜種においては、市場価格の値動きは大きかったものの、安定した品質を確保できたことから、売上高・取扱数量ともに増加させることができました。又、米・麦においては、取扱数量を伸ばすことができ、市場価格の上昇もあったことから、売上高は増加となりました。

この結果、売上高は209億95百万円(前年同期比41億17百万円増、24.5%増)となりました。

【食 糧 部】

牛肉においては昨年7月に米国産の輸入が再開されましたが、消費者の不信感は依然ぬぐえず、売上げの伸長を図りましたが、牛肉全体の消費が低迷していることから、売上高・取扱数量とも前年同期比減少となりました。加工度合の高い豚肉においては、着実に売上高を伸ばすことができました。

鶏肉においては、中国・タイ・米国産の生肉が引き続き輸入停止の状況にあり、消費需要の低迷も続く中、新たな商流の開拓に努めたものの、売上高・取扱数量とも前年同期比減少となりました。

この結果、売上高は221億34百万円(前年同期比6億33百万円減、2.8%減)となりました。

【生活産業部】

繊維関係においては、生糸等の市中在庫の調整が続いていることから、市場に活況が見られず、売上高・取扱数量とも減少となりました。鉄鋼関係においては、市場価格の高騰の中、製品需要は旺盛でありましたが、ピレット等の原料の入手は困難を極め、売上高・取扱数量とも減少となりました。

玄蕎麦においては、国内消費も依然として低迷しており、国内在庫の調整も行われていることから、売上高・取扱数量とも減少となりました。

この結果、売上高は26億1百万円(前年同期比5億69百万円減、17.9%減)となりました。

【産業機材部】

来年開催される北京オリンピック、2010年の上海万国博覧会に向けてインフラが進み、中国政府の第11次5ヵ年企画による輸送機関、関連施設の建設・整備も本格化する中、景気の過熱感もある中国ですが、主力の車輛関係は、需要は旺盛ながら、当社輸出先の中国国内の販会社等の見直しや、販売

アイテムの整理等を図った結果、売上高・取扱数量とも減少となりましたが、車両用エンジン部品等の販売では取扱を大幅に伸ばすことができました。又、本年4月1日より当部取り扱いとなりました化学品につきましては、製品需要は旺盛であったものの、原料等の入手困難な状況が続き、売上高・取扱数量とも減少となりました。

この結果、売上高は63億25百万円(前年同期比76百万円増、1.2%増)となりました。

以上